

5 国民スポーツ大会の改革について

国民体育大会は、その開催を契機として、我が国及び地域のスポーツ振興やスポーツ文化の形成に大きな役割を果たしてきたが、その開催にあたっては、開催都道府県・会場地市町村が過大な人的・財政的負担を負っている。

また、急激な少子高齢化や人口減少、地方財政の逼迫、競技ごとに行われる全国大会の充実など、地方自治体の状況やスポーツを取り巻く環境変化を踏まえ、全国知事会において、「3巡目国スポの見直しに関する考え方」を取りまとめた。

国民スポーツ大会(以下「国スポ」)という新しい大会に生まれ変わり、国スポを持続可能な大会とするためには、未来に繋がる仕組みづくりと併せて、各都道府県の様々な意見を十分に取り入れた改革が必要である。

ついては、次の事項について、特段の措置を講じ、国スポ改革の推進を図られたい。

- 1 全国知事会が取りまとめた「3巡目国スポの見直しに関する考え方」を十分に取り入れた国スポ改革を検討し、具体化を図ること。
- 2 特に、「毎年開催」「都道府県対抗」「持ち回り開催」等については、様々な見直しを求める意見があることを踏まえ、丁寧な意見集約・検討を行うこと。
- 3 国スポ開催時における一過性の選手強化ではなく、未来に繋がる競技力向上に取り組む都道府県の取組を支援し、新しいモデルとして広めること。